

平成29年12月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成29年10月27日

上場会社名 日華化学株式会社 上場取引所 東 名
 コード番号 4463 URL http://www.nicca.co.jp/
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 江守 康昌
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役執行役員管理部門長 (氏名) 澤崎 祥也 TEL 0776-24-0213(代表)
 四半期報告書提出予定日 平成29年11月10日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 平成29年12月期第3四半期の連結業績（平成29年1月1日～平成29年9月30日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年12月期第3四半期	35,494	10.5	1,574	42.3	1,629	48.4	909	331.1
28年12月期第3四半期	32,115	△5.5	1,106	△53.3	1,098	△55.9	210	△87.1

(注) 包括利益 29年12月期第3四半期 1,412百万円 (-%) 28年12月期第3四半期 △1,927百万円 (△298.8%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
29年12月期第3四半期	57.97	—
28年12月期第3四半期	13.45	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
29年12月期第3四半期	51,488	20,344	34.5
28年12月期	50,580	19,417	33.3

(参考) 自己資本 29年12月期第3四半期 17,773百万円 28年12月期 16,858百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
28年12月期	—	10.00	—	10.00	20.00
29年12月期	—	8.00	—	—	—
29年12月期(予想)	—	—	—	8.00	16.00

(注) 直前に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 平成29年12月期の連結業績予想（平成29年1月1日～平成29年12月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	47,000	6.3	1,700	16.6	1,700	7.0	2,300	563.4	146.58

(注) 直前に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	29年12月期3Q	17,710,000株	28年12月期	17,710,000株
② 期末自己株式数	29年12月期3Q	2,019,052株	28年12月期	2,019,016株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	29年12月期3Q	15,690,952株	28年12月期3Q	15,690,984株

※ 四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は今後様々な要因により大きく異なる可能性があります。

※ 金額の表示単位の変更について

当社の四半期連結財務諸表に掲記される科目その他の事項の金額については、従来、千円単位で記載しておりましたが、第1四半期連結会計期間及び第1四半期連結累計期間より百万円単位で記載することに変更いたしました。これにより、前連結会計年度及び前第3四半期連結累計期間についても比較を容易とするため、百万円単位の記載に変更しております。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. サマリー情報（注記事項）に関する情報	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動の概要	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
(4) 追加情報	3
3. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8
4. その他	9
継続企業の前提に関する重要事象等	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間（自平成29年1月1日至平成29年9月30日）におけるわが国経済は、企業業績が内外需用の持ち直しを受け好調に推移していることに加え、個人消費にも雇用者数の増加、物価上昇率の低下などを背景とした持ち直しがみられるなど、緩やかな回復基調で推移しております。海外においては、欧州市場が景気回復基調にある一方で、中国の景気減速や米国の政権運営の停滞感などによる世界経済への影響が懸念されるなど、先行き不透明な状況が依然として続いております。

こうした経営環境のもと、当社グループは、化学品事業、化粧品事業ともに積極的な事業活動を推進した結果、売上高は354億9千4百万円（前年同期比10.5%増）、営業利益は15億7千4百万円（同42.3%増）、経常利益は16億2千9百万円（同48.4%増）、親会社株式に帰属する四半期純利益は9億9百万円（同331.1%増）となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。なお、文中の各セグメントの売上高は、セグメント間の内部売上高を含んでおりません。

①化学品事業

売上高は260億3千5百万円（同13.7%増）、セグメント利益は12億7千6百万円（同71.7%増）となりました。

主力である繊維加工用薬剤の新規案件獲得に加え、製紙用薬剤、非イオン活性剤、機能性樹脂製品の販売が堅調に推移したほか、大智化学産業株式会社における半導体市場向け製品の販売やニッカKOREA CO., LTD.における環境対応型撥水剤事業が好調であったことにより、売上高は増加しました。

②化粧品事業

売上高は90億6千万円（同0.6%増）、セグメント利益は15億9百万円（同11.5%減）となりました。

国内美容サロン業界全体の伸び悩みに伴い、国内サロン向け化粧品の販売が苦戦を強いられておりますが、当社デミ コスメティクスにおいて当第3四半期に主力ヘアケアブランドのフルリニューアルを行ったことによりヘアケア剤の販売が伸び、売上は回復傾向にあります。また、山田製薬株式会社における化粧品ODM事業や、DEMI KOREA CO., LTD.における販売も引き続き好調であることから、売上高は増加しました。

③その他事業

売上高は3億9千8百万円（同81.3%増）、セグメント利益は1千3百万円（同5.4%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結累計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ、9億8百万円増加し、514億8千8百万円となりました。主な要因は、受取手形及び売掛金、製品及び商品、仕掛品が減少する一方で、現金及び預金、有形固定資産が増加したことによるものであります。

負債合計は、前連結会計年度末に比べ、1千9百万円減少し、311億4千3百万円となりました。主な要因は、短期借入金、支払手形及び買掛金が増加する一方で、長期借入金、賞与引当金が減少したことによるものであります。

純資産合計は、前連結会計年度末に比べ、9億2千7百万円増加し、203億4千4百万円となりました。主な要因は、利益剰余金、その他有価証券評価差額金が増加したことによるものであります。

この結果、自己資本比率は前連結会計年度末の33.3%から34.5%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成29年7月28日に公表いたしました連結業績予想から修正は行っておりません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

（1）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動の概要

該当事項はありません。

（2）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

（税金費用の計算）

税金費用については、第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、法定実効税率を使用する方法によっております。

（3）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

（4）追加情報

「繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針」（企業会計基準適用指針第26号 平成28年3月28日）を第1四半期連結会計期間から適用しております。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成28年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成29年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	5,882	7,147
受取手形及び売掛金	11,029	10,560
商品及び製品	3,977	3,513
仕掛品	717	637
原材料及び貯蔵品	3,089	3,048
その他	1,794	1,520
貸倒引当金	△42	△31
流動資産合計	26,448	26,397
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	9,518	9,220
機械装置及び運搬具（純額）	2,214	2,360
土地	6,231	6,379
その他（純額）	1,932	2,817
有形固定資産合計	19,897	20,777
無形固定資産		
のれん	100	39
その他	633	549
無形固定資産合計	733	588
投資その他の資産	3,500	3,723
固定資産合計	24,131	25,090
資産合計	50,580	51,488

（単位：百万円）

	前連結会計年度 (平成28年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成29年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	5,310	5,552
短期借入金	15,264	16,140
未払法人税等	279	279
賞与引当金	631	363
その他	3,128	2,756
流動負債合計	24,614	25,092
固定負債		
長期借入金	2,135	1,620
退職給付に係る負債	3,086	3,094
厚生年金基金解散損失引当金	494	494
その他	832	842
固定負債合計	6,549	6,051
負債合計	31,163	31,143
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,898	2,898
資本剰余金	3,054	3,054
利益剰余金	12,131	12,759
自己株式	△1,478	△1,478
株主資本合計	16,606	17,233
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	421	560
為替換算調整勘定	214	308
退職給付に係る調整累計額	△384	△329
その他の包括利益累計額合計	251	539
非支配株主持分	2,558	2,571
純資産合計	19,417	20,344
負債純資産合計	50,580	51,488

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成28年1月1日 至平成28年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成29年1月1日 至平成29年9月30日)
売上高	32,115	35,494
売上原価	21,134	24,083
売上総利益	10,981	11,410
販売費及び一般管理費	9,874	9,836
営業利益	1,106	1,574
営業外収益		
受取利息	20	22
受取配当金	29	39
持分法による投資利益	58	40
助成金収入	67	61
その他	154	131
営業外収益合計	329	294
営業外費用		
支払利息	68	62
為替差損	134	58
売上割引	72	68
その他	62	50
営業外費用合計	338	239
経常利益	1,098	1,629
特別利益		
固定資産売却益	2	0
投資有価証券売却益	0	108
補助金収入	—	72
特別利益合計	2	182
特別損失		
固定資産除却損	3	11
固定資産売却損	18	0
投資有価証券売却損	0	—
特別功労金	25	2
厚生年金基金解散損失引当金繰入額	494	—
減損損失	—	22
特別損失合計	543	37
税金等調整前四半期純利益	557	1,774
法人税等	193	716
四半期純利益	363	1,058
非支配株主に帰属する四半期純利益	152	148
親会社株主に帰属する四半期純利益	210	909

(四半期連結包括利益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成28年1月1日 至 平成28年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成29年1月1日 至 平成29年9月30日)
四半期純利益	363	1,058
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△37	138
為替換算調整勘定	△2,256	160
退職給付に係る調整額	2	54
その他の包括利益合計	△2,291	353
四半期包括利益	△1,927	1,412
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△1,711	1,197
非支配株主に係る四半期包括利益	△216	214

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間（自平成28年1月1日至平成28年9月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			その他（注）	合計
	化学品	化粧品	計		
売上高					
外部顧客への売上高	22,891	9,004	31,896	219	32,115
セグメント間の内部売上高 又は振替高	0	19	20	142	162
計	22,892	9,023	31,916	362	32,278
セグメント利益	743	1,705	2,448	12	2,461

(注) 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、設備請負工事を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容

(差異調整に関する事項)

(単位：百万円)

利益	金額
報告セグメント計	2,448
「その他」の区分の利益	12
セグメント間取引消去	△56
全社費用（注）	△1,298
四半期連結損益計算書の営業利益	1,106

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

II 当第3四半期連結累計期間（自平成29年1月1日至平成29年9月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：百万円）

	報告セグメント			その他（注）	合計
	化学品	化粧品	計		
売上高					
外部顧客への売上高	26,035	9,060	35,095	398	35,494
セグメント間の内部売上高 又は振替高	0	18	19	92	112
計	26,035	9,079	35,115	491	35,606
セグメント利益	1,276	1,509	2,786	13	2,799

（注）「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、設備請負工事を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容
（差異調整に関する事項）

（単位：百万円）

利益	金額
報告セグメント計	2,786
「その他」の区分の利益	13
セグメント間取引消去	8
全社費用（注）	△1,233
四半期連結損益計算書の営業利益	1,574

（注）全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

（固定資産に係る重要な減損損失）

報告セグメントに含まれない全社資産において、22百万円の減損損失を計上しております。これは、共用資産である倉庫等の取壊しの決定に伴う減損によるものです。

（のれんの金額の重要な変動）

該当事項はありません。

（重要な負ののれん発生益）

該当事項はありません。

3. その他

継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はありません。